



リミテッドスリップデファレンシャルロックキット

CT シリーズのターフモアおよび Groundsmaster® 3400 シリーズのトラクションユニット用

モデル番号02904—シリアル番号 400000000 以上

取り付け要領

このキットは、地表条件によって走行力が十分に発揮できない場合にリミテッドスリップデフ機能を付与するものです。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

重要 道路上で長時間使用されるマシンには、このキットの取り付けは推奨されません。道路上で長時間使用されるマシンにこのキットを取り付ける場合には、弊社代理店に依頼して、マシンの走行速度を16km/h に制限してください。

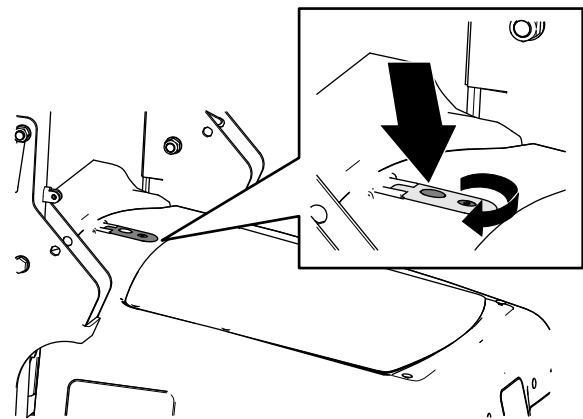
キットの取り付け準備を行う

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. カuttingユニットを停止させ、下降させる。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. すべての動作が停止するのを待つ。
6. エンジンが完全に冷えるのを待つ。

フードを開ける

1. フードのロックにフードキーを差し込んでロックを左に90°回す [図1](#)。
2. フードラッチのボタンを押す [図1](#)。



g189331

図1

3. フードを注意深く開いて降ろす [図2](#)。



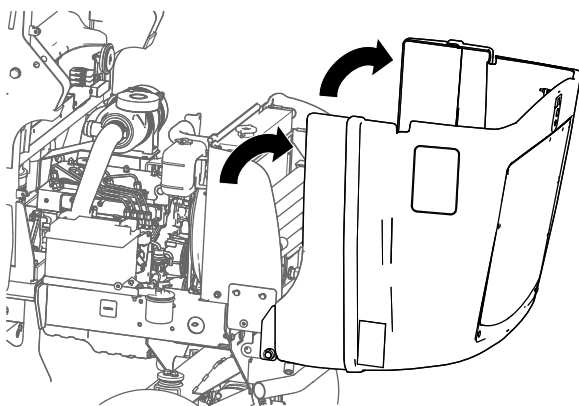
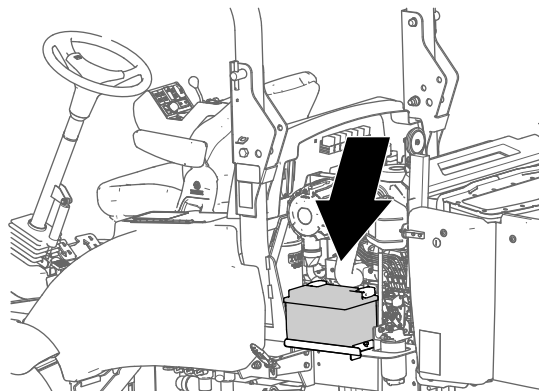


図 2

フードラッチが上部についているマシン

g189330

1. マイナスケーブルのカバーを持ち上げる 図 3。



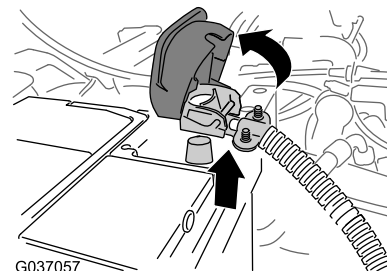
g188214

バッテリーの接続を外す

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告

バッテリーやバッテリー関連製品には鉛が含まれており、カリフォルニア州では発ガン性や先天性異常を引き起こす物質とされています。取り扱い後は手をよく洗ってください。



G037057

図 3

g037057

2. バッテリーから、マイナスケーブルを外す 図 3。

注 バッテリーのマイナスケーブルを、マイナス端子から十分に離してください。

3. プラスケーブルのカバーを持ち上げる。

注 カバーを持ち上げるとバッテリーケーブルがプラス端子からゆるんできます。

4. バッテリーから、プラスケーブルを外す。

⚠ 警告

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- バッテリーの接続や接続解除を行うときには、端子と金属を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子と金属を接触させない。

⚠ 警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

運転台を上げる

運転台のラッチハンドルを解除位置にして、[図 4](#)のように運転台を前方に倒す。

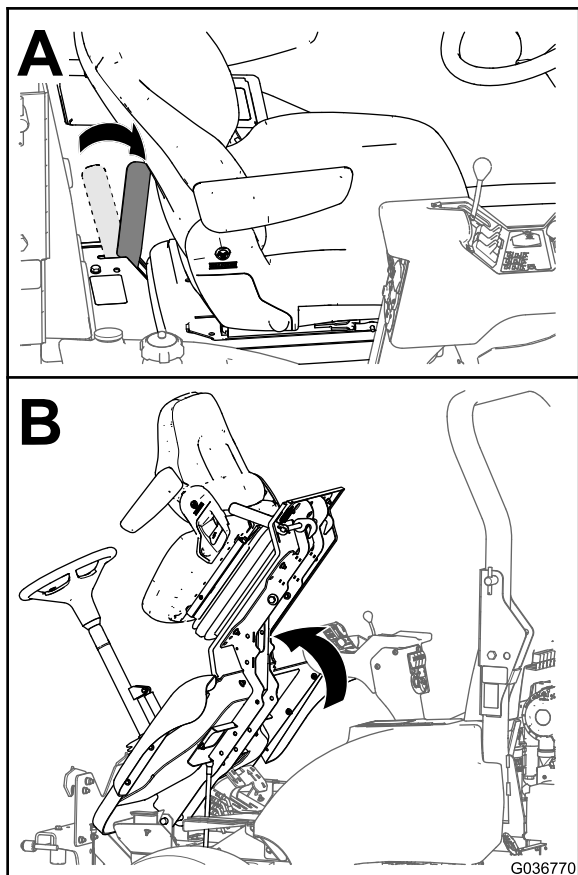


図 4

g036770

リミテッドスリップデファレンシャルバルブを取り付ける

1. 走行マニホールドのの周囲をきれいに拭く [図 5](#)。

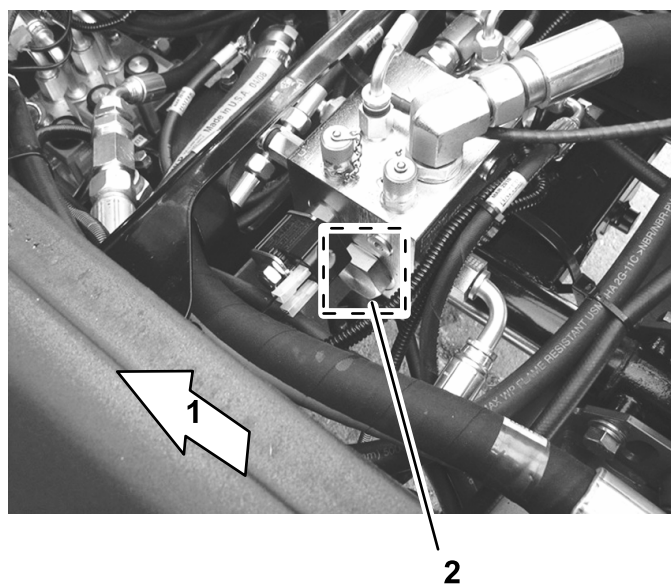


図 5

1. 機体前方
2. プラグ走行マニホールド

2. 走行マニホールドの左側にあるプラグを外す [図 6](#)。

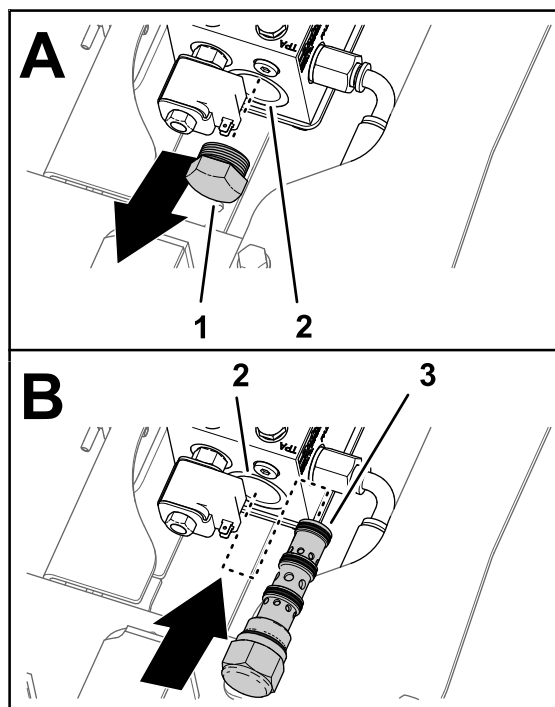


図 6

1. プラグ走行マニホールド
2. マニホールドのポート
3. リミテッドスリップデファレンシャルバルブ

3. 走行マニホールドにリミテッドスリップデファレンシャルバルブを取り付けて手締めする [図 6](#)。
4. リミテッドスリップデファレンシャルバルブについているOリングの位置がずれていないことを確認する。
5. バルブを 136149N・m 1415kg・m = 100110ft・lb にトルク締めする。

キットの取り付けを終了する

運転台を降ろす

1. 注意深く運転台を降ろす [図 4 運転台を上げる \(ページ 3\)](#) を参照。
2. 運転台が一番下の位置に近づいてきたら、ラッチのハンドルを機体前方に動かす [図 4 運転台を上げる \(ページ 3\)](#) を参照。
注 これにより、ラッチのフックがロックバーをクリアします。
3. 運転台を完全に下げ、ラッチのハンドルを機体後方に動かして [図 7](#) ラッチのフックをロックバーに掛けて運転台を固定する。

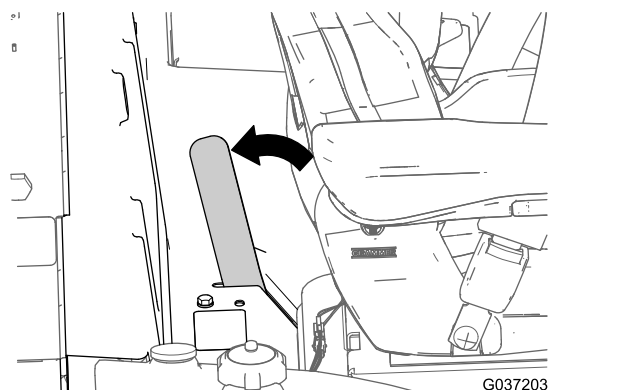


図 7

油圧オイルを点検する

油圧オイルタンクのオイル量を点検し、必要に応じて補給するトラクションユニットのオペレーターズマニュアルの「油圧オイルの量を点検する」を参照。

バッテリーケーブルを接続する

⚠ 警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

1. プラスケーブルをバッテリー端子に接続する [バッテリーの接続を外す \(ページ 2\)](#)。
2. バッテリーケーブルに端子保護カバーを取り付ける [バッテリーの接続を外す \(ページ 2\)](#) を参照。

注 カバーを閉じるとバッテリーケーブルのプラス端子が締まります。

3. マイナスケーブルをバッテリー端子に接続する [図 3 バッテリーの接続を外す \(ページ 2\)](#) を参照。
4. バッテリーケーブルに端子保護カバーを取り付ける [図 3 バッテリーの接続を外す \(ページ 2\)](#) を参照。

注 カバーを閉じるとバッテリーケーブルのマイナス端子が締まります。

シリアル番号ラベルを取り付け、フードを降ろす

1. 左側フレームのレールの機体のシリアルラベルの隣に、シリアルラベルを貼り付ける。
2. フードを閉じて固定する [フードを開ける \(ページ 1\)](#) を参照。
3. ロックを右に90°回して施錠位置にする [フードを開ける \(ページ 1\)](#) を参照。

運転操作

リミテッドスリップデファレンシャル ロックの使用方法

リミテッドスリップデファレンシャルバルブは自動で動作し、前輪が後輪後輪よりも過剰に高速で回転することを防止します。オンデマンド4WD 完全油圧閉回路トランスミッションにより、前輪がスリップすると後輪に駆動力が供給されます。

メモ

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について

トロ・ワランティール・カンパニー・トロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用

トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について

トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

トロはあなたの個人情報を保護します

トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報を訂正したい場合などのアクセス方法

ご自身の個人情報を確認・訂正されたい場合には、legal@toro.com へ電子メールをお送りください。

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。



トロの品質保証

限定保証

保証条件および保証製品

Toro® 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間*のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧ください。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクセサリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレイキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。

米国とカナダ以外のお客様へ

ご自分の国や地域における製品保証内容の詳細については、ご購入先の弊社代理店ディストリビュータまたはディーラーにお尋ねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。輸入元の対応にご満足頂けない場合は本社へ直接お問い合わせください。

- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディーブサイクルバッテリーの保証について

ディーブサイクルバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

保証の対象とならない部品や作業など エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。

商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。米国内では、間接的偶発的結果的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。

この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。